

医研シンポジウム 2024 開催趣旨

「医療の多面的価値、バリューフラワー」

医療や医薬品の価値 (value) をどのように測り、どのように社会実装するか？「費用対効果評価イコール価値評価」のような誤解もまだまだ多いが、費用対効果評価あるいは効率性評価はあくまで価値の一要素にすぎず、それ以外に公平性や予算制約・倫理的な側面など、どのような要素を組み込んで行くかが、医療経済学における中心課題である。この背景には、医療を取り巻く環境の変化・多様化がある。多様な価値をどのように市場価値・価格に反映するかについても、理論・手法・制度的な取り組みをめぐり模索する動きが活発化している。

多面的な要素の一類型として、医療経済学の国際学会である「国際医薬経済・アウトカム研究学会 (ISPOR)」が 12 の要素を提言しており、Value flower として活発に議論がなされている。

本シンポジウムは、バリューフラワーの構成要素にも着目しながら、医療や医薬品の価値の評価を、多様な観点から行う必要性が生じてきた背景をレビューし、いくつかのステークホルダーの視点から、それぞれの求める理想の評価について議論し、今後の価値評価の在り方についての方向性を示すことを目的とする。

シンポジウム座長

東京大学大学院医学系研究科教授

橋本 英樹